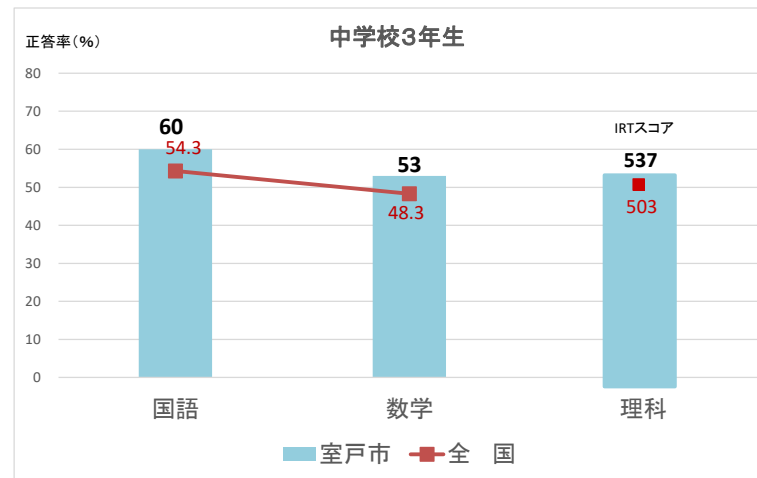
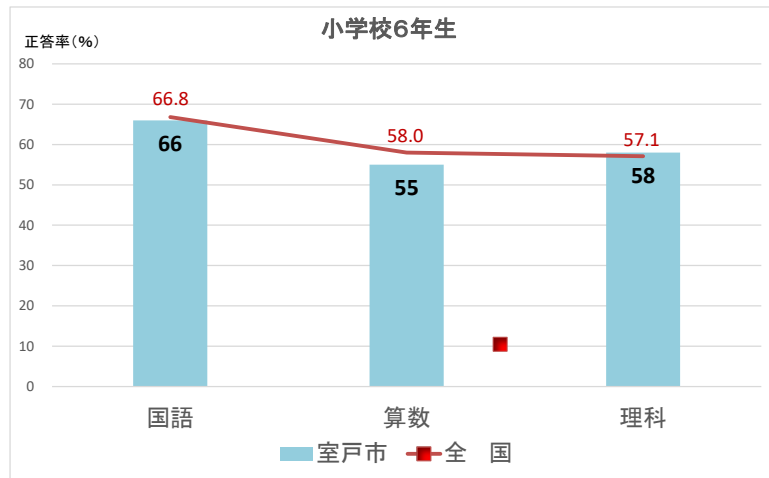


室戸市の子どもたちの「令和7年度 全国学力・学習状況調査結果」について

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学力や学習の状況を把握し、学校での授業改善に活用したり、家庭等と協力して子どもたちの生活を見直したりする目的で実施されています。

今年度は国語、算数・数学、理科の3教科と質問紙調査が実施されましたので、室戸市の子どもたちの結果についてお知らせします。

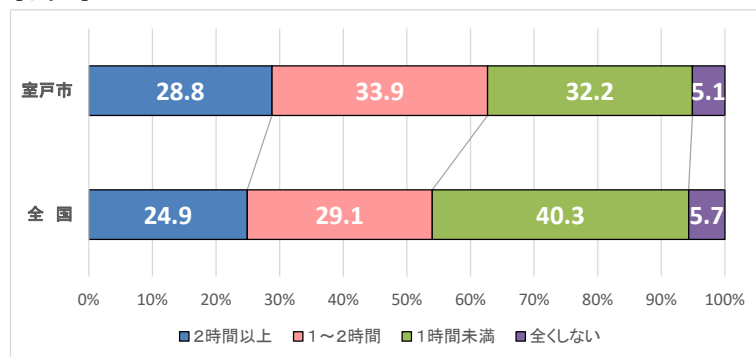
○ 各教科の調査結果について



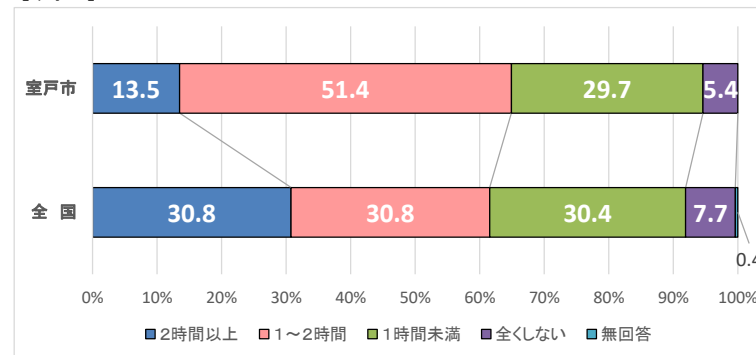
○ 質問紙調査について(抜粋)

平日の学校の授業時間以外の勉強(家庭学習)時間について(学習塾、家庭教師、インターネットでの学習を含む)

【小学生】

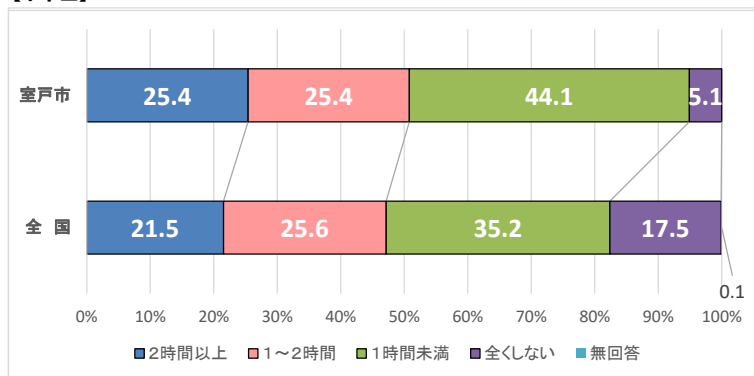


【中学生】

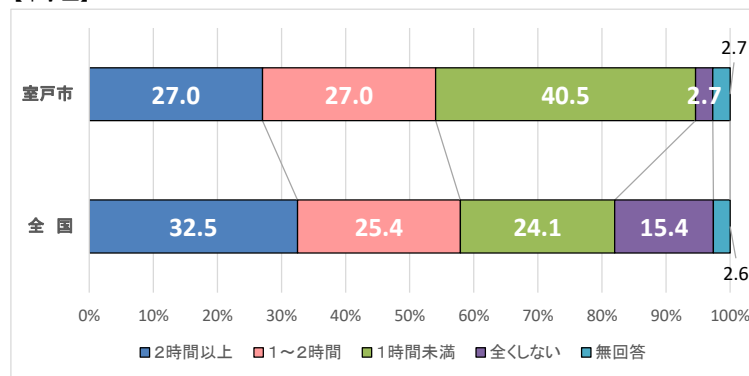


休日の勉強時間について(学習塾、家庭教師、インターネットでの学習を含む)

【小学生】



【中学生】



各教科の調査結果では、小学校では、理科の正答率が全国平均を上回りましたが、国語、算数の正答率は全国平均を下回っています。中学校では、国語、数学の正答率ともに全国平均を上回り、理科も学力を示すIRTスコアが全国平均を上回っています。

今回の学力調査結果をうけ、複数の資料を結び付けて必要な情報を見つける、文章から構成や展開について根拠を明確にして考える、図形の構成要素を正しく理解して表現する、身に付けた知識を生活に活用する等の課題があることが分かりました。教科ごとの分析会や各中学校区での小中合同分析会等を実施しながら、育成すべき資質・能力を明確にし、児童生徒が主体的に学ぶために、授業改善の取組を進めていく必要があります。

また、質問紙調査からは、室戸市内の小学校・中学校では、平日、休日とも、勉強に取り組む時間が十分でない児童生徒が、一定数いることが分かりました。家庭との連携も進めながら、授業で協働的に学んだことを、パソコン・タブレット等も活用し、一人一人に応じた家庭での学習として定着・発展させ、学力向上につなげていきたいと考えています。